

8月5日前線に伴う豪雨における 寒河江ダムの効果について

～ 寒河江ダムによる水位低減効果 約105センチ ～

寒河江ダムでは、平成30年8月5日から6日にかけて、前線に伴う豪雨がありました。例年に比べ貯水位が下がっていたため、ダム下流への放流を増量せず、全量ため込むことが可能でした。

寒河江ダムへの最大流入量は約487m³/sで、ダムにため込んだ水の総量は、約1,157万m³に達しました。（東京ドームを容器とすると約9.3杯分）

この洪水調節により、寒河江ダムの下流河川の水位（西根地点）を約105cm低減させる効果があったものと推測されます。

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158

副所長 サカモト 坂本 サトシ 悟（内線204）

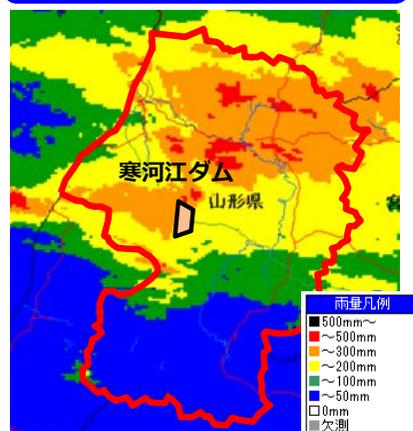
調査課長 カタギリ 片桐 シンヤ 真也（内線351）

電話 0237-75-2311（代表）

- 最上川水系寒河江川の寒河江ダム上流域において、8月5日10時頃から降り続いた雨は、8月6日7時までに**累加雨量が162mm**に達し、寒河江ダムでは**最大毎秒487m³**（8月6日6:10）の水が流れ込みました。
- 今回の洪水において、寒河江ダムでは**約1157万m³**（※東京ドームで約9.3杯分）の水を貯め込み、下流河川の水位の低下を図りました。
- 寒河江ダムによって、ダム下流の**寒河江市西根地点（寒河江川下流基準地点）**で**約105cm**の水位を低減させる効果があったものと推測されます。

※東京ドーム約124万m³

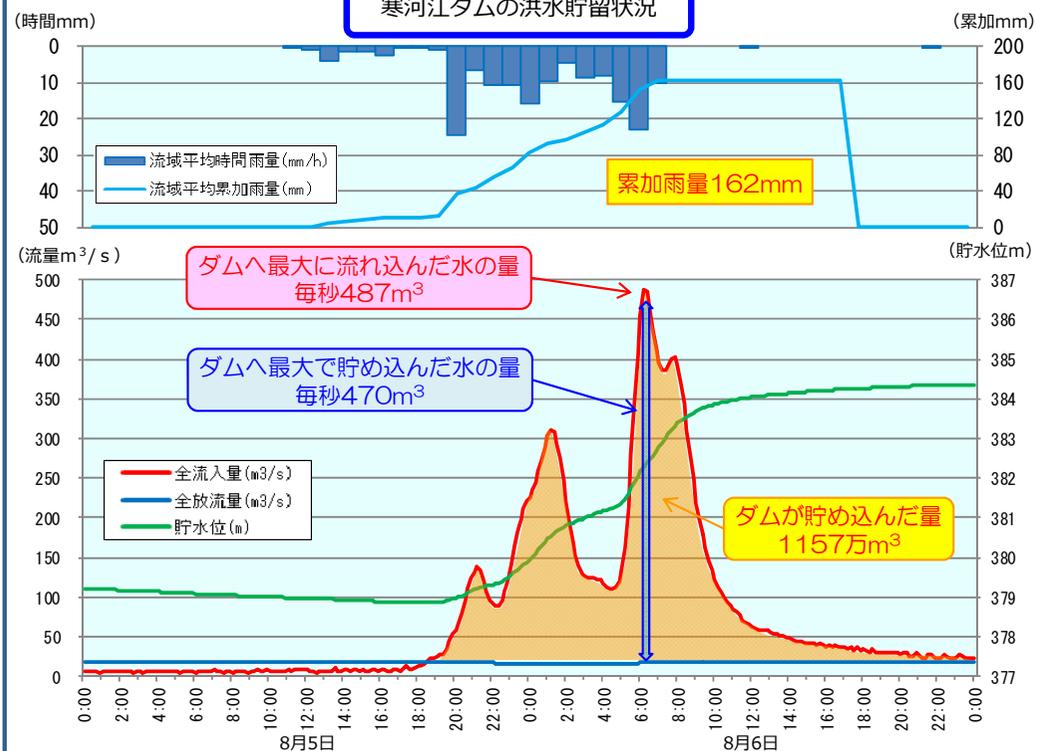
レーダー累加雨量
(8月5日10:00 ~ 8月6日10:00)



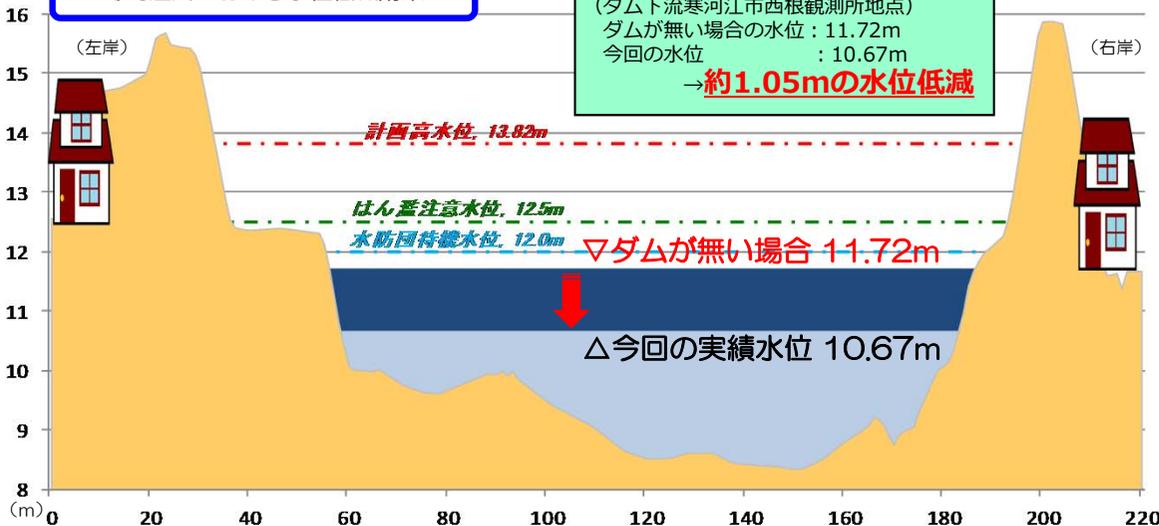
位置図



寒河江ダムの洪水貯留状況



寒河江川における水位低減効果



寒河江ダム貯水状況

